

# 戦略研究学会 秋季講演会のご案内

研究協力：防衛大学校グローバルセキュリティセンター

◎日時 2021年12月12日(日) 13:15～16:00 **オンライン開催です(Zoomを使用します)**

◎共通テーマ **「変わりゆく戦争と新技術」**

◎プログラム 《総合司会：奥山真司（国際地政学研究所・戦略研究学会常任理事）》

13:15～ 開会挨拶 倉田秀也（防衛大学校グローバルセキュリティセンター長）

13:30～14:10 講演①

講師プロフィールは裏面参照

## 「米国における戦力再構築とモザイク戦」

高橋秀行氏（2等海佐、海上自衛隊幹部学校防衛戦略教育研究部戦略研究室員）

米国は、国防上の様々な懸案事項を抱えている。例えば米議会は、競争相手と比べて海上戦力が不足していることや高度な新興軍事技術、例えば致死性を有する自律型無人兵器の開発競争に格差が生じることなどを懸念している。この状況に米国は、無人機を導入して戦力を再構築する取組みとともに、モザイク戦と呼ばれる概念を取入れようとしており、軍備競争の性質が変容する兆候が見られる。その概要、行方などを考える。

14:20～15:00 講演②

## 「国際人道法に沿った歩哨ロボット用攻撃規制システムの開発」

辻田哲平氏（防衛大学校システム工学群機械工学科准教授）

紛争地帯において一方の紛争当事者を支援して敵対行為に直接参加している文民による自爆攻撃から、国際人道法に沿った形でもう一方の紛争当事者および無関係の文民たる現地住民を移動ロボットで保護する方法を模索すべく、実ロボットを用いてロボット工学および国際法学の観点から検討を行っている。最終的な行動決定は人によって行われる遠隔操縦型ロボットを対象とし、オペレータが適法なロボットの運用ができるように法的アドバイスをするシステムの開発の経過について紹介する。

15:10～16:00 パネル討論・質疑応答 ★コメンテーター 佐藤丙午氏（拓殖大学教授）

◎参加費 戦略研究学会会員 1,000円 防衛大学校グローバルセキュリティセンター関係者 1,000円  
その他一般 1,500円

### ■参加方法

参加される方は **事前参加登録** が必要です

①学会HPの専用サイトから事前参加登録してください **12月7日締切厳守**

②参加登録後、参加費納入口座をメールにてお知らせしますので

**12月8日**までに振込手続きして下さい（**事前納入が完了しないと参加できません**）

③当日のアクセス URL は12月10日～11日にお知らせします。

### 同日開催 戦略研究学会学術研究成果発表会

講演会に先立って若手会員による研究成果発表会を開催します（**オンライン開催**）

10:55～ 開会挨拶 奥山真司（国際地政学研究所・戦略研究学会常任理事）

11:00～11:30 研究発表 松井勇起会員（筑波大学院生）・中尾優奈会員（一橋大学院生）

「戦略論における『天才』概念の再検討 イノベーション論とクラウドゼヴィッツの結節点」

11:30～11:40 討論 小野圭司（防衛研究所・戦略研究学会常任理事）

11:40～11:45 報告者からの回答

11:45～12:00 フロアとの質疑応答

※学術研究成果発表会のみ参加の場合、参加費は無料ですが、**事前参加登録が必要です**（学会HPから）

## 高橋秀行氏（2等海佐、海上自衛隊幹部学校防衛戦略教育研究部戦略研究室員）

1992年、海上自衛隊入隊。以降、小松島航空隊、厚木プログラム業務分遣隊、大湊航空隊、海上幕僚監部調査課兼外務省出向（中東アフリカ局中東第二課）、第25航空隊、航空プログラム開発隊、統合幕僚監部防衛計画部計画課、自衛隊岡山地方協力本部での勤務を経て2016年より現職。著書（共著）に『無人化する戦争—近未来戦の内幕』（外交政策センター編、創成社、2021年）、『ドローン戦争と社会はこう変わる』（同、2020年）がある。1992年3月、防衛大学校卒。2020年3月、拓殖大学大学院国際協力学研究科博士前期課程修了（安全保障）。同年4月以降、同博士後期課程在学中。



## 辻田哲平氏（防衛大学校システム工学群機械工学科准教授）

2009年にヒューマノイドロボットの運動生成に関する研究で東北大学大学院にて博士（工学）の学位を取得。その後、東北大学にて助教として勤務。2013～2015年、日本学術振興会海外特別研究員として米国カーネギーメロン大学 Robotics Institute の Visiting Faculty として、手術シミュレータに関する研究に従事。2015年より現職の防衛大学校システム工学群機械工学科准教授として勤務。計測自動制御学会学術奨励賞 研究奨励賞(2004年)、日本ロボット学会研究奨励賞(2012年)、Finalists of Best Conference Paper at IEEE ROBIO（2018年）などに選ばれる。手術シミュレータやヒューマノイドロボットの研究に加え、近年、国際人道法とロボット工学に関する研究に従事。



服の下の爆弾の非接触検査



歩哨ロボット

模擬爆弾



人型ロボットでの対処

## コメンテーター 佐藤丙午氏（拓殖大学国際学部教授・海外事情研究所副所長）

1966年、岡山県生まれ。博士（法学／一橋大学）。防衛庁防衛研究所主任研究官、拓殖大学海外事情研究所教授を経て現職。この間、経済産業省産業構造審議会貿易経済協力分科会安全保障貿易管理小委員会委員、外務省参与等も務める。国際安全保障学会理事、日本安全保障貿易学会副会長、一般社団法人日本戦略研究フォーラム政策提言委員。専門は国際関係論、安全保障、アメリカ政治外交、軍備管理。

### 戦略研究学会 入会案内

▼2001年に設立された本学会は、年2回の機関誌『戦略研究』発行、秋の講演会、定例研究会の開催などの活動を行っています。詳細は学会ホームページをご覧ください。

▼本学会への入会には理事会の承認が必要です。入会を希望される方は学会ホームページから手続きをお願いします。

年会費            正会員 5,000円    学生会員 3,000円